

予防のための応急手当訓練

高齢者向け 令和7年10月25日（土）

救急事故の多くは事前の予防対策によって未然に防ぐことができます。

当センターでは、身近に起こる事故を予防する対策として、「予防のための応急手当訓練」を始良市消防本部ご協力のもと毎年実施しております。

今年は、10月25日（土）10:00～11:30

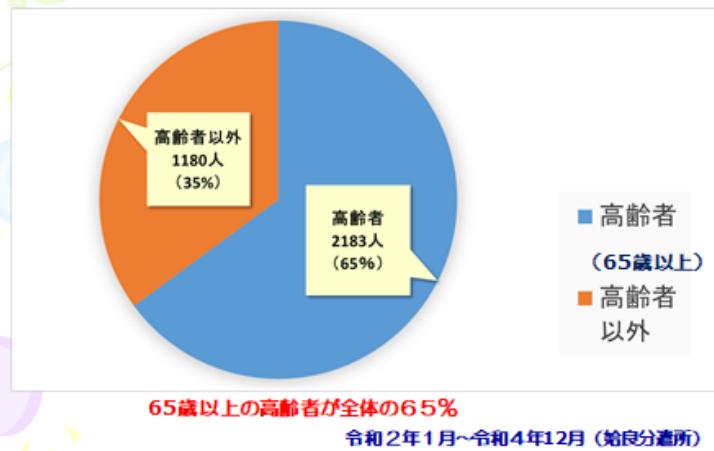
21名の方に参加していただきました。



講師:始良市消防本部 始良分遣所

2部救急小隊 小田 正幸氏

救急搬送割合

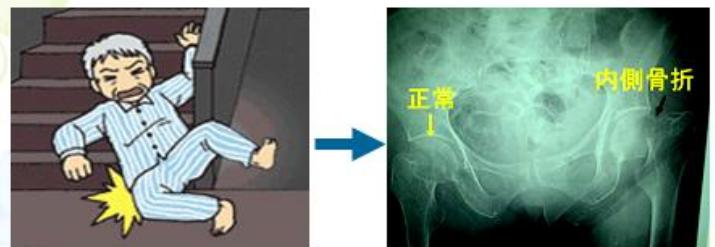


転倒・転落事故の特徴

- 転倒・転落事故は救急事故原因の第1位
- 体の機能が低下し始めた高齢者に多く発生する
- 発生場所は家庭内の敷居・浴室・トイレでの転倒・階段・踏み台からの転落が多い
- 骨粗しょう症も重なり骨折から長期入院が必要になる

転倒・転落事故の特徴

- 転倒・転落事故は救急事故原因の第1位
- 体の機能が低下し始めた高齢者に多く発生する
- 発生場所は家庭内の敷居・浴室・トイレでの転倒、階段・踏み台からの転落が多い
- 骨粗しょう症も重なり、骨折から長期入院が必要になる



80代男性

脱臼や骨折

夜中 階段で足を滑らせ転落 腰を強打
救急隊到着時 足の付け根の骨折（変形）があるもの



80代男性

● 雑煮の餅を詰まらせ窒息し呼吸ができなくなった
● 救急隊到着時 意識・呼吸がなくなっているもの

ヒートショック事故の特徴

○ヒートショックとは・・・

周囲の環境の急激な温度変化により、体に大きな負担がかかること（血圧の乱高下）

○死者数・・日本は世界を見ても断トツの1位

○ヒートショックが起こりやすい場面・・・

冬期の入浴時 冬期のトイレ

○ヒートショックは 脳出血 脳梗塞 心筋梗塞などの重い病気につながる

○正しい知識と環境の整備で「予防」できる

ヒートショックによる溺水事故



80代男性

浴室で脳出血を起こしたもので救急隊到着時意識をなくした状態で溺れていたもの

熱中症の特徴

○熱中症は気温・湿度・直射日光などと密接に関係

○水分を摂る習慣がない人 クーラーを点けずに家で過ごす人 日中野外で作業する人などが犠牲に

○筋肉の痙攣 血圧の低下 最悪の場合は意識がなくなり 生命に係わる場合がある

○28°C以上 高湿度 無風の日は要注意！

○体が気温の暑さに慣れていない時季も危ない！

熱中症の症例



70代女性

真夏の屋内で気分不良となり体温が39度台に上昇したもの

救急隊到着時 ぐったりとした状態で意識状態が悪いもの

始救あんしんキット

- 市では、高齢者や障害者の緊急時の備えとして、始救あんしんキットの無料配布をしています。
- 始救あんしんキットの中に、あんしん携帯カードを入れて冷蔵庫に保管しておけば、緊急時に救急隊が情報を基にしてスムーズな救命活動を行うことができます。
- 万が一に備え、活用しましょう。



始救あんしんキットに入れるもの



- ①救急あんしんカード
 - ・緊急連絡先
 - ・かかりつけ医
 - ・服薬情報等
- ②写真（裏面にお名前をご記入下さい）
- ③健康保険証のコピー
- ④その他医療情報のコピー（診察券等）



AEDを使って心肺蘇生の説明



参加者の方から「実技が多く、とても勉強になりました」など感想をいただきました。

高齢者の窒息、入浴中の事故、熱中症など突然死の原因であり、日頃から予防することが重要です。

ご自身や大切なご家族が安全で健やかな生活が送れるように「予防救急」に努めましょう。

始良市消防本部の皆様、ご協力ありがとうございました。

